

2023年度 教育活動委員会 理事会企画 新人看護教員のための授業づくり ～講義の授業設計に関する困りごととその対処～

日本看護学教育学会 第33回学術集会において、教育活動委員会の理事企画が行われました。当日の様子と参加者アンケートの集計結果をご報告いたします。

1. 本企画の主旨

新人看護教員が講義を担当する際に悩む授業づくりに着目し、新人看護教員が抱える困りごとを参加者と共に共有し、授業づくりのヒントを提供することをねらいとする。

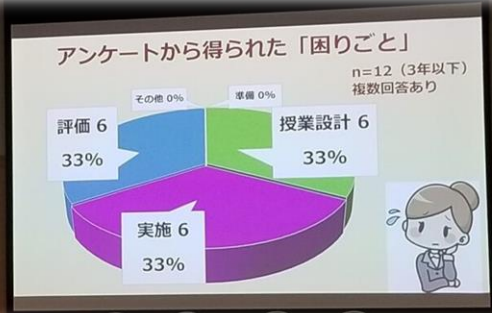
2. 日時 令和5年8月27日（日）9時～10時30分

3. 開催場所 福岡国際会議場 第3会場

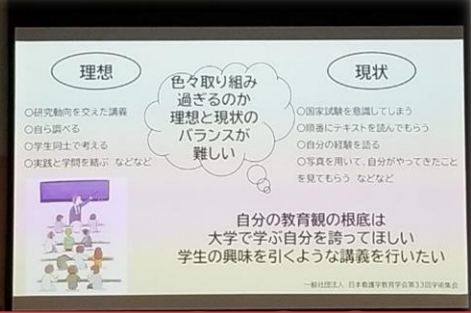
4. 当日プログラム

時間	項目・演者
9:00	オリエンテーション
9:05	アンケートから得られた「困りごと」紹介
9:10	「困りごと」エピソード 阿部宏史 先生（藍野大学）
9:20	授業づくりのヒント 野崎真奈美 先生（順天堂大学） 松田安弘 先生（群馬県立県民健康科学大学） 白水真理子 先生（姫路大学）
9:50	ディスカッション・質疑応答
10:05	レクチャー「新人看護教員のための授業づくり」 新井英靖 先生（茨城大学）
10:25	まとめ

当日の様子



アンケートから得られた「困りごと」の紹介



藍野大学 阿部 宏史 先生による「困りごと」エピソードの紹介

3名の先生方による授業づくりのヒント



野崎真奈美 先生
(順天堂大学)



白水眞理子 先生
(姫路大学)



松田安弘 先生
(群馬県立県民健康科学大学)



会場を交えてディスカッション



司会 江本リナ先生
(日本赤十字看護大学)



レクチャー「新人看護教員のための授業づくり」
新井英靖 先生 (茨城大学)

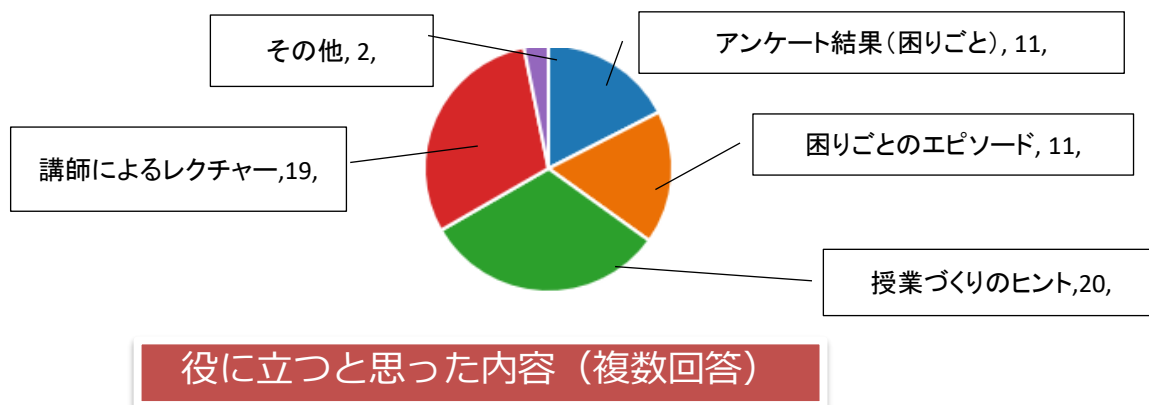
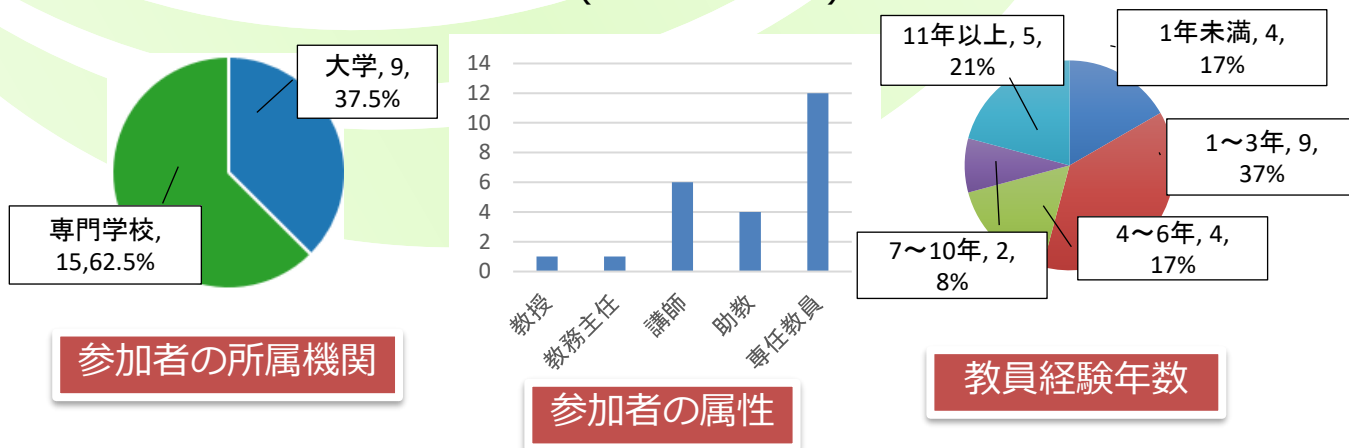


まとめとご挨拶
池西静江先生 (office Kyo-Shien)

会場参加者からのアンケート結果

参加者：延べ約140名

アンケート回答者：24名(回収率17.0%)



本企画の感想 (自由記述) 一部抜粋

自分の悩みと合致する内容があり、それに対するヒントも得られて有意義だった。

教員研修で学んだ事を振り返ることができました。また、教育学の見地から看護教育を裏付けしてくださった展開、わかりやすかったです。

実際に自分も困っているところを示されたため共感から入り、とても興味深く聞くことができた。

具体的なエピソードについての回答というながれは、とてもわかりやすかったです。

教育学会として適切なテーマ、内容だと思う。

授業づくりに常に悩んでいます。考え方やポイントを学ぶことが出来、焦る気持ちはまだまだありますがなにかスッキリとした気がします。頭を切り替えて準備が出来そうです。お話聞けて良かったです！

日ごろ、新人(今年2年目)教員に授業案作成指導していますが、なかなか上手く指導できず(本人のスキルが上がらない)と悩んでいたため、説明、指導の改善に役立ちそうです。

新人教員であり、現在初めて授業設計している渦中であり困っていたため、参考になった。焦って何をすれば良いかわからない日々を一步立ち止まって考える機会となった。

演者の最後の言葉に涙が出ました。今必死に授業設計をやっている理由は学生に授業をわかってもらうこと関心を持ってもらうことであり、そのためにはこちら楽しむということが大切ということを知り、その通りだなと思った。できないことで落ち込んで自分のことしか考えられなくなっている自分に気づくことができた。

アンケート回答のご協力、ありがとうございました。